

出雲商工会議所管内 業種別景況（平成30年4月～6月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年4月～6月期)と比べた 今期(平成30年4月～6月期)の状況				前期(平成30年1月～3月期)と比べた 今期(平成30年4月～6月期)の状況				今期(平成30年4月～6月期)と比べた 来期(平成30年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	31.7	33.3	35.0	△ 3.3	45.0	36.7	18.3	26.7	33.3	38.3	28.3	5.0
2 採 算	15.0	51.7	33.3	△ 18.3	25.0	55.0	20.0	5.0	28.3	46.7	25.0	3.3
3 仕 入 単 価	33.3	65.0	1.7	31.7	16.7	81.7	1.7	15.0	30.0	66.7	3.3	26.7
4 従 業 員 数					3.3	90.0	6.7	△ 3.3	6.7	90.0	3.3	3.3
5 資 金 繰 り					8.3	78.3	13.3	△ 5.0	10.0	73.3	16.7	△ 6.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		21.7	56.7	21.7		0.0		38.3	43.3		18.3	20.0		3.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	26.7	11.7	3.3	41.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	6.7	8.3	18.3	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	1.7	10.0	8.3	20.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	1.7	0.0	1.7
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	5.0	1.7	6.7	13.3	10 事 業 資 金 の 確 保 難	6.7	10.0	1.7	18.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	8.3	5.0	11.7	25.0	11 需 要 の 停 滞	10.0	8.3	8.3	26.7
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	1.7	1.7	1.7	5.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	18.3	8.3	11.7	38.3	13 そ の 他	8.3	5.0	1.7	15.0
7 人 件 費 の 増 加	3.3	11.7	1.7	16.7	無 回 答	3.3	16.7	25.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年4月～6月期)と比べた 今期(平成30年4月～6月期)の状況				前期(平成30年1月～3月期)と比べた 今期(平成30年4月～6月期)の状況				今期(平成30年4月～6月期)と比べた 来期(平成30年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	33.3	22.2	44.4	△ 11.1	44.4	22.2	33.3	11.1	33.3	44.4	22.2	11.1
2 採算	22.2	33.3	44.4	△ 22.2	33.3	44.4	22.2	11.1	44.4	33.3	22.2	22.2
3 仕入単価	33.3	66.7	0.0	33.3	22.2	77.8	0.0	22.2	33.3	55.6	11.1	22.2
4 従業員数					0.0	100.0	0.0	0.0	11.1	88.9	0.0	11.1
5 資金繰り					11.1	66.7	22.2	△ 11.1	22.2	55.6	22.2	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.2	44.4	33.3		△ 11.1		33.3	33.3		33.3	0.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	33.3	0.0	0.0	33.3	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	33.3	22.2	55.6
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	11.1	11.1	9 取引条件の悪化	0.0	11.1	0.0	11.1
3 製品・商品単価の下落	11.1	0.0	22.2	33.3	10 事業資金の確保難	11.1	0.0	0.0	11.1
4 原材料高及び不足	0.0	11.1	0.0	11.1	11 需要の停滞	22.2	11.1	11.1	44.4
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	11.1	11.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	11.1	11.1	0.0	22.2	13 その他	11.1	0.0	0.0	11.1
7 人件費の増加	0.0	11.1	0.0	11.1	無回答	0.0	11.1	22.2	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 新商品や新サービスの開発や営業力強化を図りたいが、人員不足も相まって遅々として進まない。
- ・ 地元だけでなく、販売先を拡大する必要がある。

《 建 設 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年4月～6月期)と比べた 今期(平成30年4月～6月期)の状況				前期(平成30年1月～3月期)と比べた 今期(平成30年4月～6月期)の状況				今期(平成30年4月～6月期)と比べた 来期(平成30年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	42.9	14.3	42.9	0.0	57.1	28.6	14.3	42.9	42.9	28.6	28.6	14.3
2 採 算	28.6	28.6	42.9	△ 14.3	42.9	42.9	14.3	28.6	42.9	28.6	28.6	14.3
3 仕 入 単 価	42.9	57.1	0.0	42.9	28.6	71.4	0.0	28.6	42.9	57.1	0.0	42.9
4 従 業 員 数					14.3	71.4	14.3	0.0	28.6	71.4	0.0	28.6
5 資 金 繰 り					28.6	57.1	14.3	14.3	14.3	85.7	0.0	14.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		57.1	14.3	28.6		28.6		57.1	14.3		28.6	28.6		14.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	14.3	14.3	0.0	28.6	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	14.3	14.3	28.6
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	14.3	14.3	10 事 業 資 金 の 確 保 難	14.3	0.0	0.0	14.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	0.0	28.6	28.6	11 需 要 の 停 滞	0.0	14.3	0.0	14.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	71.4	0.0	14.3	85.7	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	28.6	0.0	28.6	無 回 答	0.0	28.6	28.6	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 受注はあるが、人員不足により機会ロスが生じている。
- ・ オリンピックを迎えるにあたって、物価高や原油高を懸念している。
- ・ 猛暑による従業員の生産性の低下を懸念している。

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年4月～6月期)と比べた 今期(平成30年4月～6月期)の状況				前期(平成30年1月～3月期)と比べた 今期(平成30年4月～6月期)の状況				今期(平成30年4月～6月期)と比べた 来期(平成30年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	26.3	42.1	31.6	△ 5.3	36.8	47.4	15.8	21.1	26.3	36.8	36.8	△ 10.5
2 採 算	0.0	63.2	36.8	△ 36.8	10.5	63.2	26.3	△ 15.8	15.8	57.9	26.3	△ 10.5
3 仕 入 単 価	26.3	73.7	0.0	26.3	21.1	78.9	0.0	21.1	31.6	68.4	0.0	31.6
4 従 業 員 数	/	/	/	/	5.3	94.7	0.0	5.3	5.3	94.7	0.0	5.3
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	5.3	84.2	10.5	△ 5.3	10.5	68.4	21.1	△ 10.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		10.5	73.7	15.8		-5.3		21.1	68.4		10.5	10.5		5.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	47.4	21.1	0.0	68.4	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	5.3	21.1	26.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	5.3	15.8	10.5	31.6	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	10.5	5.3	5.3	21.1	10 事 業 資 金 の 確 保 難	10.5	15.8	5.3	31.6
4 原 材 料 高 及 び 不 足	10.5	0.0	5.3	15.8	11 需 要 の 停 滞	10.5	5.3	10.5	26.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	5.3	0.0	5.3	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	10.5	21.1	31.6	13 そ の 他	0.0	5.3	0.0	5.3
7 人 件 費 の 増 加	5.3	5.3	5.3	15.8	無 回 答	0.0	5.3	15.8	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 海外の情勢や、国内の運賃上昇によって、原材料の値上げが懸念される。
- ・ 消費税の増税やメーカーや業界の変化によって消費動向が変化するので、良い影響が出る期待もあり、対応できるような情報収集を行っている。
- ・ インバウンド観光が盛んになっており、商品の品薄により仕入がままならなくなっており、オリンピックの際には更なる悪化を懸念している。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成29年4月～6月期）と比べた 今期（平成30年4月～6月期）の状況				前期（平成30年1月～3月期）と比べた 今期（平成30年4月～6月期）の状況				今期（平成30年4月～6月期）と比べた 来期（平成30年7月～9月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	30.8	53.8	15.4	15.4	53.8	46.2	0.0	53.8	23.1	46.2	30.8	△ 7.7
2 採算	23.1	61.5	15.4	7.7	38.5	53.8	7.7	30.8	15.4	46.2	38.5	△ 23.1
3 仕入単価	23.1	69.2	7.7	15.4	0.0	100.0	0.0	0.0	7.7	84.6	7.7	0.0
4 従業員数					0.0	84.6	15.4	△ 15.4	0.0	92.3	7.7	△ 7.7
5 資金繰り					7.7	84.6	7.7	0.0	0.0	76.9	23.1	△ 23.1

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		15.4	76.9	7.7		7.7		53.8	38.5		7.7	46.2		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	7.7	0.0	7.7	15.4	8 設備店舗の狭小・老朽化	15.4	0.0	7.7	23.1
2 大企業進出による競争激化	0.0	23.1	15.4	38.5	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	15.4	0.0	15.4
4 原材料高及び不足	7.7	0.0	7.7	15.4	11 需要の停滞	7.7	0.0	0.0	7.7
5 在庫製品・商品の過剰	7.7	0.0	0.0	7.7	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	15.4	7.7	7.7	30.8	13 その他	15.4	7.7	7.7	30.8
7 人件費の増加	7.7	7.7	0.0	15.4	無回答	15.4	38.5	46.2	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 旅館業では豪雨災害や民泊の増加などによって宿泊者数が減少している。
- ・ 消費者意欲の低下のためか、顧客の来店頻度が少なくなっている。
- ・ 周年イベントや各種イベントへの参加を行い、顧客開拓や売上の拡大を企図している。

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年4月～6月期)と比べた 今期(平成30年4月～6月期)の状況				前期(平成30年1月～3月期)と比べた 今期(平成30年4月～6月期)の状況				今期(平成30年4月～6月期)と比べた 来期(平成30年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	33.3	16.7	50.0	△ 16.7	41.7	25.0	33.3	8.3	50.0	33.3	16.7	33.3
2 採 算	16.7	50.0	33.3	△ 16.7	16.7	58.3	25.0	△ 8.3	41.7	50.0	8.3	33.3
3 仕 入 単 価	50.0	50.0	0.0	50.0	16.7	75.0	8.3	8.3	41.7	58.3	0.0	41.7
4 従 業 員 数					0.0	91.7	8.3	△ 8.3	0.0	91.7	8.3	△ 8.3
5 資 金 繰 り					0.0	83.3	16.7	△ 16.7	8.3	83.3	8.3	0.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		25.0	41.7	33.3		-8.3		41.7	33.3		25.0	16.7		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	16.7	16.7	8.3	41.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	16.7	0.0	25.0	41.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	16.7	16.7	25.0	58.3	11 需 要 の 停 滞	8.3	16.7	16.7	41.7
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	25.0	8.3	8.3	41.7	13 そ の 他	16.7	8.3	0.0	25.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	16.7	0.0	16.7	無 回 答	0.0	8.3	16.7	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 豪雨災害により観光客が減少しており、地元客を既存店で取り合いをしている状況となっている。
- ・ ビール等の値上がりしており、料金に転嫁できていない。
- ・ 暑さによる消費意欲の低下や野菜の高騰など様々な影響が出ることを懸念している。
- ・ EUとのEPA（経済連携協定）の発効により、ワインやチーズなどの仕入単価が抑えることができる。